

## 第15回AWC-CCB会議

### 2012年の共同闘争のための決議

#### 1. われわれが直面する情勢

2008年に勃発した米国発の金融恐慌は、またたく間に全世界に波及し、実体経済にも深刻な打撃を与えながら、世界恐慌として深まり続けてきた。それは、帝国主義と独占資本・多国籍企業が推進してきた新自由主義グローバル化の破綻を示すものであった。大企業・大銀行を救済するために各国政府がおこなってきた巨額の財政出動は、米国やヨーロッパ諸国などで国家財政危機を顕在化させ、新たな危機を生み出している。

独占資本に対する救済・優遇措置がとられる一方で、労働者・民衆はその危機のつけを一方的に押しつけられている。失業率が増大し、労働者の権利の剥奪が進められている。各国政府がおしなべて採用する緊縮財政政策は、増税や社会保障の削減、公務員の大量解雇などによって労働者・民衆の生活をますます逼迫させている。帝国主義国と「開発途上国」を問わず、全世界で貧困が拡大し、貧富の格差が増大している。アジア太平洋地域においてもそれは例外ではない。

帝国主義諸政府と独占資本・多国籍企業は自らの生き残りを図るために、自国と他国の労働者・民衆に対する搾取・抑圧・収奪をいっそう強めていこうとしている。そのために、アジア太平洋地域においては、韓米FTAや環太平洋戦略的経済連携協定(TPPA)、さらにはアジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)構想など、二国間・多国間の自由貿易協定(FTA)・経済連携協定(EPA)の締結交渉がよりいっそう推進されようとしている。

世界資本主義体制の危機は、帝国主義の軍事支配をめぐる情勢にも影響を与えている。米国・オバマ政権は、巨額の財政出動と戦費の増大がもたらした国家財政危機をひとつの背景にして、従来の「二正面戦略」の明確な放棄と兵力の削減を余儀なくされた。しかし同時に、オバマ政権は、今年1月に発表した新軍事戦略で、中国への軍事的対抗や朝鮮民主主義人民共和国に対するけん制を公に語りつつ、アジア太平洋地域においては米国の軍事プレゼンスをよりいっそう増強していく意図を明らかにしている。この地域の軍事的緊張を高めながら進められている済州(チェジュ)島での韓国海軍基地建設と各地の在韓米軍基地の強化、沖縄と日本「本土」における「米軍再編」、フィリピンにおける米軍の恒常的駐留、オーストラリアへの新たな海兵隊の駐留の開始、米国と同盟国との軍事同盟・軍事演習の拡大・強化などの策動は、すべてこの文脈にもとづくものである。

同時に、2011年3月11日に日本・福島で発生した歴史上最悪レベルの原発事故は、原子力発電所の危険性を世界の労働者・民衆にあらためて突きつけた。放射能漏れはいまも続いており、放射能は日本を越えて他国にも拡散した。その人間と自然に対する被害の規模はいまだ予測することができない。同時に、この福島原発事故は、原子力発電所の閉鎖・廃炉を求める労働者・民衆の行動を世界的な規模で拡大させている。

世界資本主義体制の危機と米国の一極的世界支配の動揺のなかで、労働者・民衆の闘いが各地でさまざまなかたちで前進している。長期独裁政権を打倒したエジプトやチュニジアなど中東・北アフリカの民衆の決起は、全世界の抑圧された民衆を鼓舞してきた。ウォール街占拠運動は全世界の労働者・民衆の共感を集め、世界各地の街頭でそれと連帯・連携する行動が取り組まれた。アフガニスタン民衆をはじめ帝国主義の侵略・占領に対する抵抗が続いている。ア

アジア太平洋地域においても、帝国主義と反動政権に対する闘いが、各国・地域で粘り強く取り組まれている。他方、看過できないことに、経済金融危機と社会不安の増大のなかで、帝国主義諸国においては、さまざまな形態をとった右翼勢力・レイシストの運動が台頭している。

このような情勢は、われわれが、米日帝国主義および反動政権と対決し、アジア太平洋地域における労働者・民衆の共同闘争と相互支援をよりいっそう前進させていく必要があることを示している。われわれは、AWC発足以来の20年間の共同実践の成果を踏まえ、われわれに求められているこの課題に全力で取り組んでいく。排外主義・レイシズムに反対し、反帝国主義・国際民衆連帯の闘いをさらに推進していこう。

## 2. 2012年の共同闘争の課題

われわれは、本2012年、以下を指針とし、アジア太平洋地域の民衆運動間の共同闘争と相互支援を進めていく。

(1) 労働者・民衆の生存権を破壊する新自由主義グローバリゼーションに対する闘いを強化しよう。

- \* WTOやIMF、APEC、G8、G20など新自由主義グローバリゼーションの推進のための国際機関・国際会議に反対して闘おう
- \* アジア太平洋地域における二国間・多国間の自由貿易協定（FTA）・経済連携協定（EPA）の締結に反対しよう。環太平洋戦略的経済連携協定（TPPA）、アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）構想に反対しよう
- \* 新自由主義政策と闘う各国・地域での労働者・民衆の闘いへの相互支援を進めよう

(2) アジア太平洋地域における反戦平和闘争を推進しよう

- \* 米軍のアフガニスタン、イラクからの即時完全撤退を求め、その実現のための国際的な共同闘争を推進しよう
- \* 帝国主義による石油支配のためのイラン、中東への戦争策動に反対して闘おう
- \* フィリピンで継続する米軍の「対テロ戦争」に反対しよう
- \* 朝鮮半島の自主的平和統一を支持し、米日帝国主義の朝鮮民主主義人民共和国に対する戦争策動に反対し、平和協定の締結のために努力しよう
- \* 米日帝国主義の台湾海峡への介入に反対し、中国本土と台湾の兩岸の統一を支持しよう
- \* 国連PKO活動への参加などを口実にした自衛隊（日本軍）の海外派兵に反対しよう
- \* 釣魚諸島や独島をめぐる日本の帝国主義的領土拡張主義に反対しよう
- \* 日本の侵略戦争・植民地支配の被害者による日本政府に対する謝罪と賠償を要求する闘いを支援・推進しよう

### (3) アジア太平洋地域から米軍の総撤収を実現するための共同闘争をさらに発展させよう

- \* 米軍基地と米軍駐留に反対するアジア太平洋地域の民衆の共同闘争をさらに発展させよう。アジア太平洋地域および世界の反米軍基地ネットワークの活動を支援し、ともに闘おう
- \* 韓国・済州（チェジュ）島での新たな韓国海軍基地建設に反対しよう。また、武建里（ムゴンニ）、群山（クンサン）など在韓米軍基地の強化に反対する韓国民衆の闘いに連帯しよう
- \* 沖縄ー日本「本土」での米軍再編に反対し、基地強化反対ー基地撤去をめざす沖縄、岩国、神奈川の民衆の闘いを支援しよう。沖縄への自衛隊（日本軍）の配備強化に反対しよう
- \* 米軍訪問協定（VFA）を通じた米軍の再駐留に反対するフィリピン民衆の闘いに連帯しよう
- \* 米日、米韓、米比など米国主導の軍事同盟と軍事演習に反対し、連携した抗議行動を組織しよう。
- \* 女性や子どもへの性暴力をはじめとした駐留米兵による凶悪犯罪を弾劾し、それに対する闘いを国際的に推進しよう

### (4) 核兵器と原子力発電所に反対する闘いを強化しよう

- \* アジア太平洋地域からのすべての核兵器と原子力発電所の廃絶をめざして闘おう
- \* 帝国主義による核開発・研究、核実験、劣化ウラン弾を含むあらゆる核兵器の使用に反対して闘おう
- \* 米国、日本、韓国などの政府・独占資本が推進する原発輸出に反対して闘おう
- \* 福島事故から一周年にあたる今年3月11日、すべての原子力発電所の閉鎖・廃炉を求める同時行動を組織しよう

### (5) 抑圧・人権侵害に対する各国・地域の民衆の闘いへの相互支援を推進しよう

- \* フィリピンでの国家権力による政治的殺害・人権侵害を弾劾し、すべての政治犯の即時釈放を求めよう
- \* 各国・地域において移住労働者の運動との連帯を強化しよう
- \* 韓国、フィリピン、日本の政府・入管当局によるAWCメンバーに対する入国禁止措置を弾劾し、その撤回を求めて共同で闘おう

第15回AWC－CCB会議において決議  
2012年1月29日  
於 韓国・ソウル